

議案第1号

令和4年度事業報告

1 上部団体会議報告(抜粋)

【日本ソフトテニス連盟】

※ 新会員登録システムについて

昨年会員登録システムがリニューアルしたが、システムの不具合が続き運営に支障をきたしていることから、引き続き取扱いについて会員登録委員会と連携し調整を行なっていく。

(1) 普及振興

ア 全日本選手権大会の開催地固定化を実施に向け調整

イ 全日本小学生選手権大会参加選手旅費補助の見直し

ウ 運動部活動の地域移行の推進・具体的な取組

(ア) 中学生を主な対象に市町村連盟等が練習の場を提供することを目的とし、コート使用料等の関係経費を補助する。

(イ) 日連運動部活動地域移行推進委員会を中心に、各加盟団体に抱えている課題等を情報共有し、意見交換する機会を設ける。

エ 各種資格等の制度推進と認定

(ア) 日連大会参加の資格要件として技術等級が定められていない大会に対し要項を記載し、有資格者の増加を図る。

(イ) (公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度有資格者の増加を図る。

(2) 競技力向上

ア 指導者育成

指導者の資質と向上を図り、活動促進と指導体制の擁立を図ることを目的とした事業を実施

(ア) スタートコーチ(教員免許状所持者含む)養成事業の促進

(イ) 指導教本の改訂

イ 指導者研修会の開催

令和5年度は中学指導者の研修会として中学校の運動部活動の地域移行をテーマとした50名規模で開催する。

(3) 令和4年度日連表彰(長野県)

支部功労者:大日方武雄さん(大町支部)

優良団体:HIN-HIN

(4) 大会参加料の改定について

【東日本ソフトテニス連盟】

第78回東日本ソフトテニス選手権大会

令和5年7月15日(土)、16日(日)秋田県秋田市・横手市・大仙市他

【北信越ソフトテニス連盟】

北信越選手権大会(会場:長野市南長野運動公園テニスコート)

令和5年4月29日(土)シングルス、4月30日(日)ダブルス

※ 例年から日程変更(全日本シングルスとの関係)

2 主要大会成績 ※別紙大会成績一覧表参照

成績	大会名	種別	選手
優勝	第26回全日本シニア選手権大会 (熊本県熊本市)	男子 60	依田 教夫(長野)・山田 浩一(石川・ 北陸電力石川)
第3位	第77回東日本選手権(松本市他)	女子 50	芦部 美奈子(飯田)・田中 道子(神 奈川・横浜レディース)
優勝	北信越選手権	女子 35	上條 美穂・池上 京子(みのわ)

3 各委員会事業報告

【総務委員会】

- 1 法人化への検討
継続して検討していく。
- 2 表彰者の申請資料の作成
各支部から表彰の候補者を申請していただき、総務委員会で検討し、理事会・総会に諮っていく。
- 3 (公財)日本ソフトテニス連盟への県連盟主催・主管の大会成績送付と大会結果のまとめ
- 4 機関誌「ソフトテニス」の購読者のまとめ、(公財)日本ソフトテニス連盟への購買手続き
支部毎取りまとめをお願いし、県連会計にて手続きを行っている。
- 5 規約の変更について
随時、変更案等が検討されれば、それに則り理事会、総会に諮る。
- 6 倫理委員会、あり方委員会への参加
- 7 総務委員会開催
表彰者関係、規約の見直し、法人化についての検討を実施

【競技委員会】

- 1 第77回東日本ソフトテニス選手権競技運営
松本市・安曇野市・伊那市・大町市・長野市にて各支部競技委員により運営
- 2 競技委員会組織変更(10月30日 臨時評議委員会で承認)
強化委員会を分離、普及担当・運営担当・クラブチームリーグ戦担当で構成
- 3 長野県クラブチームリーグ戦(大会結果は別紙参照)
 - 特別激励費対象チーム
シニア45の部 ウィン長野 シニア65の部 長野ふれあい

【強化委員会】

1 国体強化事業

事業	内容
対外試合への派遣	平和カップひろしま国際 成年男子1チーム派遣 全日本シングルス 男子4名、女子2名派遣 全日本選手権 男女各2ペア派遣 北信越選抜インドア 男女各4ペア派遣
全種別合同強化練習	8月13日、14日(南長野運動公園) 中学、高校、一般の県内上位選手を招集し、合同強化練習を実施。
各種別強化練習	・各種別において年間を通し強化担当が主体となり数回行う。 (幅広い人数を集め) ・代表選手選考後はほぼ毎週強化練習を実施。 ・各種別共に選手選考後に対外試合を県内外で実施。 ・北信越国体後も継続し強化を図っている。(成年は毎月1回)

2 長野国民スポーツ大会を見据えた強化事業

- (1) 小学生 7月8日と代表選手強化練習に強化委員会として指導に参加し、トレーナーを活用した運動能力向上指導も行う。
- (2) 少年女子の国体強化に成年選手の参加し、トレーナーを活用したケアサポートも行う。
- (3) 小・中・高校生の大会視察に成年種別の強化スタッフの派遣を実施した。県内外区別無く、より多くの大会の視察を行い、県内選手が県外どの位置にあるかの現状把握をした。他県との違いの把握と他県スタッフとの情報交換を図る。
- (4) 冬季強化リーグ戦
今年度より全種別上位選手を招集し、合同の強化リーグ戦を実施した。
(令和5年1月4日、2月5日、2月19日の計3回実施)
互いの試合を目の当たりにする事での意識の向上や、種別を跨いだ対戦によりレベル向上を目的とし、選手や指導スタッフ間の交流やチーム長野で強化を図る。

【広報委員会】

- 1 ホームページのメンテナンス、SNSでの情報発信
 - ・各種大会要項、結果、その他大会に関するお知らせの掲載
 - ・連盟情報へのスポーツ団体ガバナンスコード、事業報告、連盟組織概要について掲載
 - ・県連主催大会等における入賞者写真のSNSへの掲載
- 2 第77回東日本ソフトテニス選手権運営
 - ・東日本ソフトテニス選手権特設サイトの作成並びに各種申請書類、会場案内、組み合わせ、結果、入賞者写真の掲載
 - ・コロナ禍における広域大会のため、会場へ来られない方へ向けたSNS (Twitter/Facebook/Instagram) での結果速報
(実施にあたり各支部より広報担当をアサインいただき、ありがとうございました。)
 - ・マスコミ、インターネットメディア等の取材対応
 - ・機関紙「ソフトテニス」、ソフトテニスマガジンへの大会結果、入賞者写真等の情報提供
- 3 委員会として正式に発足
 - ・10月30日に行われた臨時理事会にて広報委員会として正式に発足

【育成委員会】

「ソフトテニス競技者育成プログラム」事業

Step - 3 (北信越ブロック) U-17の部で唐澤すみれ選手(松商学園高校)が北信越代表として第17回ジュニアジャパンカップ (Step - 4) に選出された。

U-17女子シングルス：ベスト8

ダブルス：ベスト16

【指導委員会】

本年度は社会経済活動と新型コロナ対策の両立を目指す中、長野県スポーツ協会の指導者更新研修が実施され、当委員会でも計画していた指導者講習会を実施することができた。

- ・指導者講習会
 - 4月10日 小体連と強化委員会との共催で指導者講習会を実施
- 12月18日 資格を保有する指導者及び小・中学生の指導者に案内し、日々強化練習ができるよう指導者育成を図る。(QRコードによる講習会ビデオの配布)
また、地域スポーツ団体等の中体連参加の情報提供を行うとともに、今後の部活のあり方と公認資格の必要性の情報提供を行った。参加者：24名

【審判委員会】

- 1 公認審判員資格取得の促進について

ア 1級審判員の認定（新規・更新）

【検定会：参加・新規取得】

松本支部4名、上田支部1名、高体連2名、計7名

【研修会：更新取得】

令和3年度（令和4年3月更新）の該当者に対する研修会は、新型コロナウイルス蔓延防止のため、全国的に開催されなかった。令和4年3月更新者は、申請により認定更新となった。

イ 2級審判員、ジュニア審判員の認定（新規・更新）について

5月末までに審判委員会に申請いただいた、2級審判員新規61名、更新168名、ジュニア審判47名の申請登録を行い、審判ワッペンと認定証を発行しています。

しかしながら、審判登録について停止する旨の連絡なく、日連の旧会員登録システムが停止となり、現在まで電子メールで申請をしてください。という連絡が来ているのみで、申請しても、新会員登録システム上での審判認定と登録がされていません。全国小学生大会への参加条件のため、例外的に1件のみ登録を手動で行っていただきましたが、その他の申請は認定されていません。そのため、現状、県連への申請も待っていただいている支部もありますが、登録認定について連絡がないため、新規更新ともに、例年通り認定申請を3月頭までに審判委員会にお願いします。

2 第77回東日本ソフトテニス選手権への審判協力

7月16日（土）、17日（日）に県内5会場（長野、松本、大町、伊那、安曇野）にて、各種別決勝の審判だけでなく、男女80歳以上の部は予選から全試合を審判で実施した。審判委員会では、当初予定した各地域の1級審判員、MR28名に加え、東北信地域の2級審判員10数名にも協力いただいた。

3 北信越国体への審判派遣

8月20、21日に福井県越前市で開催され、松本・上田支部から2名ずつの審判を派遣した。

4 北信越インドアへの審判派遣

11月26、27日に新潟県上越市で開催され、27日に1名の審判依頼があり、塩尻支部から審判を派遣した。

5 ソフトテニスハンドブックについて

ソフトテニスハンドブックは、令和3年（2021年）4月に改正され、各規則内での用語の統一がされたが、その後2回、用語の小修正が入っている。そのため、現状の競技規則、審判規則は令和4年（2022年）4月1日施行となっている。また、令和4年4月1日に「ユニフォームの着用基準について」が改定されている。

・2級審判員・ジュニア審判員の研修用教材

○ソフトテニス審判技術マニュアルDVD・40分の動画（平成20年度版）

○審判員研修会共通資料

審判研修会の講習・実技で注意すべき点を示したもの

○ジュニア審判マニュアル

○ジュニア審判員認定試験練習問題

1、2級審判新規取得者はソフトテニスハンドブックを、ジュニア審判新規取得者は、ジュニア審判マニュアルを配布しています。研修会のテキストとして利用したい場合など、取得申請前の対応がありましたら審判委員会にお問い合わせ下さい。

【技術等級委員会】

・ジュニア審判取得への移行の時期等が明確に示せず、各支部にて混乱を招いた。

・日連の会員登録システム移行により、申請手続き方法がわからず混乱した。

【会員登録委員会】

- ・会員登録数について（別紙参照）
- ・新日連会員登録システムについての対応
- ・新規団体作成について

【生涯スポーツ委員会】

全国ねんりん、マスターズ全国大会とも3年ぶりの大会であったが、県予選会への参加者が少なく、参加者拡大が今後の課題である。

大会名	会場	日程	結果等
ねんりんピック県予選会	塩尻市中央スポーツ公園テニスコート	4月16日（土）	10ペア参加
全国ねんりん	神奈川県小田原市、南足柄市	11月12日（土）～ 11月14日（月）	予選リーグ3位 決勝トーナメント3回戦
マスターズ県予選	塩尻市中央スポーツ公園テニスコート	6月3日（土）	6ペア参加
マスターズ全国大会	岩手県北上市	9月23日（金）～9 月25日（日）	予選リーグ3位 3位トーナメント準決勝敗退 （45才女子およびミックスは県推薦で選出）
信州ねんりんピック	伊那市センターテニスコート	10月22日（土）	60才の部6ペア参加 70才の部8ペア参加

【レディース委員会】

- ・第44回全日本レディース決勝大会長野県予選会 6月4日（扇子田運動公園）
- ・強化練習会 7月2日・8月9日・10月4日
- ・第2回全日本レディース決勝大会（シニア）長野県予選会 7月5日（美須々屋内運動場）
- ・第47回県レディース選手権大会 9月13日（浅間温泉庭球公園）
- ・第49回全日本レディース個人戦長崎大会 7月30日、31日
- ・第44回全日本レディース決勝大会（愛知県）
長野③-2愛媛 長野③-2山口 長野2-③三重 予選敗退
- ・第29回北信越ブロックレディース大会（富山県）9月24日
- ・第2回全日本レディース決勝大会（シニア）（千葉県）
長野1-④宮城 長野0-⑤静岡 予選敗退
- ・全日本レディース常任理事会（大阪）5月、11月
- ・北信越ブロック会議（福井）9月23日

【事務局】

- 1 ペーパーレス化の推進（継続）
- 2 大会日程の調整
- 3 加盟団体ガバナンスコードへの対応
- 4 組織運営の見直し
 - ・組織改革（委員会の見直し、新設）
 - ・規約、規程見直しの検討
 - ・一般会計収支予算を精査し、競技人口減少等に伴う財源収入の減少から、身の丈にあった運営を行うため、財政運営の見直しを行った。（令和5年度より基金取崩の凍結、予算規模縮小）

長野国民スポーツ大会準備委員会 令和4年度事業報告

令和4年度活動報告

1 強化部

牧之瀬強化委員長新体制で取り組み（強化委員会事業報告参照）

2 運営部

総務

- ・東日本選手権運営により、今後の大会運営における反省、方向性並びに経験を積めた。
（競技部と連携）
- ・北信越国体、本国体視察を実施、運営等の状況を確認した。
- ・日本連盟視察対応⇒令和5年1月23日（月）
- ・地元協会（上田市ソフトテニスクラブ）との協力体制の検証
役割分担の見える化を検討
- ・資金確保に伴う協賛金額、具体的な広告体系の検証
本年開催の東日本選手権協賛協力企業等に継続して支援をお願いする。

広報

- ・第43回北信越国体の長野県選手団の活躍（結果・写真等）のHP掲載
- ・国スポ当日の速報の予行練習として、東日本ソフトテニス選手権における各種SNSでの速報を実施
 - Twitterを中心に大好評をいただいた
 - 多くのフォロワーを獲得し県連SNSアカウントの認知度が向上した
- ・マスコミ、インターネットメディア等の取材対応を実施
 - 日本ソフトテニス連盟事務局と連携し、メディア対応のノウハウを獲得
- ・HPにおける東日本ソフトテニス選手権特設サイトにて、各種お知らせを実施
 - 事前周知内容は滞りなく周知された、国スポに向けても同様の対応を進めていく

物資

- ・今年度の販売状況について（別紙参照）
純利益・・・400円×900枚=360,000円
単価3000円販売のうち400円の利益。500円の利益にするには、1001枚以上の注文の上一括払いになるため断念。来年度以降も400円の利益で行う。

審判

（審判委員会の報告同様）